

まちづくり交付金 事後評価シート
広西地区

平成20年12月

広島県呉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	呉市	地区名	広島地区	面積	228ha						
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	7,842百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高質空間形成施設(古新聞地区街路灯設置事業)、高次都市施設(仮称)広島市民センター整備事業、土地区画整理事業(古新聞土地区画整理事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(古新聞土地区画整理事業、仮称)広島市民センター整備事業)										
	新たに追加した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
		基幹事業	道路事業(横路1丁目白石線、古新聞井天橋線、大広吉松線、阿賀虹村線)	道路網の整備により、住みやすく住んでみたいまちづくりの推進を図るため事業を追加した。	事業を追加したのち、様々な要因から、平成20年に事業規模を変更するに至った。この事業規模縮小に対する事業効果をより具体的に明確に示すため、新たな指標(広地区幹線道路(街路)整備率)を設定した。								
	基幹事業	地域生活基盤施設(仮称)新広島駅前自転車等駐車場整備事業、耐震性貯水構設置事業)	安全な住環境の創造や交流拠点の整備により、住みやすく住んでみたいまちづくりの推進を図るため事業を追加した。	居住人口の増大の指標に関連し、数値目標を修正した。 (仮称)広島市民センターの施設利用者数に関連するが、数値目標は据え置いた。									
	提案事業	地域創造支援事業(区画整理区域内下水道整備事業)	安全な住環境の創造により、住みやすく住んでみたいまちづくりの推進を図るため事業を追加した。	居住人口の増大の指標に関連し、数値目標を修正した。									
	交付期間の変更	当初変更	平成16年度～20年度 —	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標年度	数値 モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	指標1	居住人口の増大	人	1,221	H15	1,550	H21	1,383	1,595	○	あり なし	土地区画整理事業の実施により、宅地の利用増進が図られ、幹線道路の整備等により安心して暮らせる住環境が確保されたことにより、居住人口が増大している。	平成21年10月
	指標2	(仮称)広島市民センターの施設利用者数	人	524,184	H15	827,500	H19	508,416	836,544	○	あり なし	新たな機能を付加した事により利用価値が上がり、目標の達成につながった。	平成21年4月末
	指標3	狭路道路率	%	55.7	H15	37.0	H20	46.8	35.9	○	あり なし	着手可能な箇所から事業に取りかかった結果、目標の達成につながった。	平成21年4月末
	指標4	公共交通機関による所要時間	分	25.7	H15	16.9	H21		16.9	○	あり なし	道路整備が進み、部分供用を開始した事により、交通の利便性が向上し、目標の達成につながった。	平成21年6月
	指標5	広地区幹線道路(街路)整備率	%	44.4	H17	49.1	H20		47.5	△	あり なし	関係協議に日数を要したことから事業が遅れ、目標の達成に影響を与えた。しかし、事業の進捗に伴い、住民の期待感の向上や民間によるまちづくり計画が進むなど一定の効果は上がっている。阿賀虹村線整備事業の事業の特殊性から、1年以内の数値目標の達成は困難であると判断した。	平成21年10月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標年度	数値 モニタリング	評価値	目標達成度①	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標1	古新聞土地区画整理区域内宅地化率	%	20.9	H15			56.3			土地区画整理事業において、完成したところから随時使用収益を開始した結果、徐々に新しいまちなみが形成され、郊外型店舗が建ち並ぶなど、賑わいを増している。また、周辺の道路等整備も進む中、住民の関心も高まり、その結果、円滑な事業進捗が図られ、宅地化率の向上につながった。	平成21年4月末	
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	民間開発業者から当地区への開発相談(道路事業 阿賀虹村線の完成を見込んだ)がある事などからまちづくりの気運が高まっている事が確認できる。 ・マリノポリス地区内施設利用予定業者から、マリノ大橋-阿賀虹村線を經由する物流機能の強化(時間短縮)のため、早期完成を望まれている。 ・平成19年度に実施した住民アンケート結果から、「健全な市街地形成を望む」、「安全性、住環境向上のため早期の完成を期待する」といった回答が多く、事業進捗に伴いまちづくりへの期待感が向上していると判断出来る。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	交付期間中(中間期)におけるモニタリングの実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 最終年度において目標値の達成が困難な指標について、目標値の変更案等を公表し、意見聴取した。有識者からの意見聴取により、その妥当性を担保し、平成20年3月に実施した都市再生整備計画変更に反映することが出来た。今後の事業においても適時行うよう考えている。					
	住民参加プロセス	関係権利者に向け(区画整理ニュース)(年4回程度発行)により事業の進捗状況等について情報を提供しており、市のホームページでも情報を提供している。			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 事業について理解を深めていただくとともに円滑な事業進捗につながった。今後も、情報を提供し、市民の意見を伺う場を設ける。					
	持続的なまちづくり体制の構築	(区画整理区域内施設) ・公園については、維持管理を地元団体に委ねる。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●					
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			地元自治会と協議しながら、今後も継続し、協力を得たいと考えている。					
	(仮称)広島市民センター) ・子育て支援センターについては、管理運営を呉市すこやか子育て協会(任意団体・既に市中心的施設(箇所)を管理運営)に委ねる。 ・市民協働推進センターについては、管理運営をNPO法人(既に市内で施設1箇所を管理運営)に委ねる。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			施設運営について、今後も同様の方法で継続していきたいと考えている。							
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

広島地区（広島県市）まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標：住宅・住環境の改善とコミュニティ施設整備による、市の副都心としての拠点地域の創造		居住人口の増大	単位：人	1,221	H15	1,550 H21
目標1：区画整理事業により、無秩序な既存市街地の街並みの整備、公共施設の整備改善、居住環境の整備を推進し、宅地の利用増進を図る。		(仮称) 広市民センターの施設利用人数	単位：人	524,184	H15	827,500 H19
目標2：呉市東部地域のコミュニティの拠点となる施設整備により、交流人口の増加を図る。		狭径道路率	単位：%	55.7	H15	37.0 H20
目標3：道路網の整備、安全な住環境の創造や交流拠点の整備により、住みやすく住んでみたいまちづくりを推進し、にぎわいのある副都心を形成する。		公共交通機関による所要時間	単位：分	25.7	H15	16.9 H21
		広地区幹線道路（街路）整備率	単位：%	44.4	H17	49.1 H20

広島市民センター

新広島駅前自転車等駐車場

古新開土地区画整理 (H.19.10撮影)

古新開地区街路灯

阿賀虹村線 (H.20.4撮影)

広島地区のまちづくり計画図

まちの課題の変化

広島地区のまちの課題である、「無秩序な既存市街地の改善」、「安心して暮らせる住環境の確保」、加えて「呉市東部地域のコミュニティ拠点の創造」は、この5年における街並み整備、公共施設の改善、居住環境及び幹線道路の整備等、各事業の推進により、課題の解消に向け、一定の成果はあがり、市の副都心としての拠点地域として、新たなまちづくりに反映されている。しかしながら、区域内には、いまだ無秩序な既存市街地が点在し、また土地利用転換に伴う交通需要に対応した道路網は脆弱な状況にあり、呉市東部地域のコミュニティ拠点づくりに不可欠な基盤整備の更なる推進を図る必要がある。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

呉市東部地域の交流拠点である広島市民センターを中心とした、呉市の副都心としての拠点地域を創造するため、住宅・住環境の整備を推進し、地区内の無秩序な既存市街地の改善や幹線道路の整備等、基盤整備を重点にまちづくりを進めていく。

また、事業の円滑な推進を図るため、地元住民や関係機関への連絡調整を密にし、まちづくりへの取り組みについての周知手法として、広報のあり方についても検討するなど、まちの課題の解消に向け、まちづくり交付金制度等の活用により、事業を推進していく。